



ChatGPTの全庁的な実証実験をスタートします 業務効率化を目指し、本格利用に向けた検討を進めます

生駒市は、AI技術を活用した対話型のサービス「ChatGPT」をLGWAN環境から安全に利用できる環境を整備し、業務効率化による市民サービスの向上に向けた全庁的な実証実験を開始します。

個人情報保護をしながら、「ChatGPT」の可能性を最大限に引き出せるよう、まずは定型文書や挨拶文の作成、議事録の文字起こしや要約といった定例的な業務から活用します。実証実験で得られた知見・課題を検討し、活用が見込める業務の選定や運用指針などの策定につなげます。

■ 実証実験の概要

1 試行期間 令和5年秋頃～令和6年夏頃を目途に実施予定

2 実証実験の進め方

全職員から希望者を募り、9月15日(金)に勉強会を実施します。利用ガイドラインの徹底や、チャット欄に入力する「プロンプト(指示文)」によって回答結果の質が大きく異なることなどを体感します。数字などを使って条件を詳細に指定することや回答者の立場を指定すること、対話の継続といった特徴を学んでから実務で活用し、知見の集約と課題の洗い出しを行います。

3 実証する業務の一例

- ◇定型文書や挨拶文の作成
- ◇議事録の文字起こしや要約
- ◇SNSの投稿文の作成
- ◇誤字脱字のチェック など

4 利用ガイドライン(実証実験用)・指針の策定

- ◇実証実験の実施にあたり、利用方法や注意事項、禁止事項、利用事例などをまとめた利用ガイドラインを策定します。機密情報や個人情報は取り扱わない方針とし、情報の取扱いに最大限配慮します。
- ◇実証実験を通して、市職員の効率的な利活用と個人情報保護を両立させるための指針を策定する予定です。今後、国のガイドライン策定等の動向も踏まえて、適宜改訂を進めます。

5 利用環境

シフトプラス(株)が提供する「zevo(ゼヴォ)」を使って、安全に利用できる環境を整備しました。「zevo」はLGWAN環境でChatGPTを活用できるプラットフォームであるため、職員がChatGPTへ入力した情報が二次利用されることはありません。

この件に関する報道関係からのお問い合わせ

生駒市最高デジタル責任者補佐官(森本)、デジタル推進課スマートシティ推進室(室長 立田)

☎0743-74-1111(内線2860)